



## 冬道はスピードと車間距離に要注意 交通安全町民大会 12/9

町主催の交通安全町民大会が社会福祉センターで開催され、約160人の町民が参加しました。同大会では、交通事故の防止と題して釧路警察署の平藤弘樹交通企画係長が、冬道事故はスリップ時のパニックによる操作ミスが多いことから車の性能を過信せずスピードと車間距離に注意するよう呼びかけました。また、JAF釧路支部の内藤裕孝推進係長が、シートベルト着用の重要性と題して安全と誤認されている後部座席は前の人へのけがをさせる危険があることなどを説明しました。



## 生産者から地産地消を学ぶ 地産地消の出前授業 12/12

白糖小学校3年生の教室で、よつ葉乳業株式会社による出前授業が行われました。生産者から直接話を聞くことにより、地産地消について理解を深めることを目的に行われた授業は、同社根釧工場の廣瀬正典さんとJAくしろ丹頂女性部白糖支部の澁谷幸子副支部長などが講師を務め、酪農家の仕事や生乳が紙パックに詰められるまでの工程を説明しました。児童たちは「牛の寿命は？牧草以外は何を食べるの？」など積極的に質問していました。

## 世界に1つだけのクリスマスキャンドル 公民館土曜サロン 12/8

町教育委員会主催の公民館土曜サロン親子でクリスマスキャンドルを作ろうが開催され、親子連れなど約30人が参加しました。キャンドル作りは、家庭にある物と100円ショップで購入することができる手軽な材料を使って行われ、参加者は好みの色になるよう濃度を調整し、アロマオイルを加えるなどカラフルで個性的なキャンドル作りを楽しみました。子どもたちは「きれいな色にできた。とてもかわいくできた」と笑顔で話していました。



## 老若男女、多くの会員でにぎわう 西庶路新朝日町内会餅つき 12/9

新朝日町内会が餅つきを行い、幅広い世代の会員約50人が交流を深めました。餅つきは、昨年まで有志により小規模開催していましたが、庶路学園の開校が契機となり、約20年ぶりに町内会行事として開催されました。餅は素早く切り分けられ、雑煮が振る舞われると参加者はつきたての餅を笑顔で味わいました。井出位会長は「これほどにぎやかなのは久しぶり。老若男女、幅広い世代の交流を深めるためにも続けていきたい」と話していました。

